

2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

島尻安伊子 1965年3月4日生まれ 宮城県仙台市出身
1984年 聖ウルスラ学院英智高校卒業
1988年 上智大学文学部卒業
2004年に那覇市議会議員補欠選挙で初当選し2期務める
2007年に参議院議員補欠選挙で初当選し2期務める
2021年 衆議院選挙初当選し2期務める

玉城県政の支持 支持する / 支持しない

支持しない

→沖縄県ワシントン事務所問題(2015～2025、運営費約10億円)について、いまだに真相の解明と責任の所在が明らかではない。

高市政権の支持 支持する / 支持しない

支持する

→首相就任後すぐに、強いリーダーシップのもと、「強い日本経済:実現する総合経済対策」(補正予算)を取りまとめた。国民の期待の高さは支持率にも表れている。

今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

→連立枠組みが変わり、新たな政策推進に対する国民の意思を確認する必要がある。そのうえで、高市総理が自ら述べているように、「高市早苗が内閣総理大臣に相応しいかどうか」を国民に問う選挙。

最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

①経済・雇用 ②米軍基地問題 ③安保政策・自衛隊配備 ④医療・福祉 ⑤教育・子育て ⑥沖縄振興計画 ⑦その他

沖縄振興計画

→強い沖縄の経済を実現すべく、令和8年度沖縄関係予算の目玉に「GW2050 PROJECTS」を掲げた。今後、那覇空港の機能強化と、返還予定の米軍基地跡地の一体的な開発を力強く推進していく。

普天間基地の辺野古移設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

容認

→普天間飛行場を巡る問題の原点は、住宅や学校に囲まれ、世界で最も危険とも言われる普天間飛行場の危険性を一日も早く除去すること。固定化は絶対に避けなければならない。

南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対

容認

→我が国を取り巻く安全保障環境は年々厳しくなっている。特に中国の明白な脅威に対して、県民の生命財産を守るために当該地域の防衛力を整備するのは止むを得ない。